

CONTENTS	ページ
柳川から駆け上がる未来のスターたち	2~3
よかもんまつり、消防の救マークほか	4~5
インフル予防接種、特定健診ほか	6~7
水都 info、広報発行は月1回にほか	8~15
お知らせ掲示板、市史抄片ほか	16~23

10 / 1
2022.No.416

広報やながわ 令和4年10月1日号 No.416



日本の伝統芸能を身近に感じて

市内の学生たちに日本の伝統芸能の演目や所作についてわかりやすく紹介し、理解を深めてもらおうと、8月25日、ハリウッドワールド美容専門学校で能のワークショップが開催されました。この日は、水都柳川能実行委員会の主催で約100人の学生が参加しました。講師は久留米市を中心に能の体験講座などを開催している中村勝さん。能の実演や、鼓体験など普段触れることのない世界に学生たちは興味津々でした。実際に鼓を叩いた学生は「叩くだけで簡単そうに見えたけど、なかなかきれいな音が鳴らず難しかった」と話してくれました。

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kohno@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



【上】主将としてチームを全国3位に導いた田中さん。2019年(小学6年生のとき)にはホークスジュニアに選出され主将も任された逸材。高校ではキャッチャーとして全国制覇を目指す【左上】打順は1番。長打も打てる切り込み隊長として活躍【左下】強肩と広い守備範囲を買われ全国大会にはショートで出場

柳川探求

No.30

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

中学硬式野球最高峰のジャイアンツカップで全国3位に 高校野球で目指すは全国制覇 田中 昊汰郎さん(田脇・15歳)

8月15日から20日に関東で開催された全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ。佐賀フィールドナインの主将として出場した昭代中学校3年の田中昊汰郎さんは同大会で全国3位に輝きました。

原点は柳川で始めた少年野球

田中さんが野球を始めたのは小学2年生のとき。2歳年上の兄海也さんの背中を追って市内の野球チーム「柳川両開フレンズ」に入ったのがきっかけでした。当時のコーチが「誰よりも質問してくる量が多く、その分

すごい成長スピードだった」と振り返るほど、めきめきと成長。中学からは佐賀の強豪チームに所属し、昨年の秋からは主将としてチームをけん引しています。

最終回で逃した決勝戦への切符

俊足を生かした広い守備範囲を買われ、チームではショートを任されることが多い田中さん。実は最も得意なポジションはキャッチャーで、2塁への送球は2秒を切るほどの強肩です。打撃では1番を任せられていて、塁に出ると果敢に盗塁を狙う

チームのリードオフマン。さらに、長打力も兼ね備えているなどまさにチームの中心選手です。

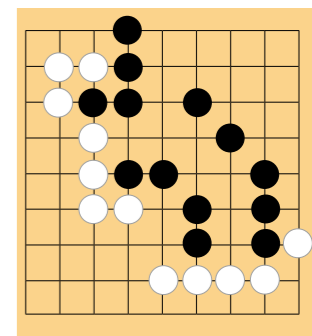
そんな田中さん率いるチームは、九州ブロック代表として全日本中学野球選手権でも順調に勝ち進み、迎えた準決勝では千葉県代表のチームに1点リードし最終回へ。しかし、最後の守りで逆転を許し、3対4で惜敗しました。「野球は最後まで何が起るかわからない。高校では最後まで全力を尽くして日本一をつかみ取りたい」と次の目標に突き進んでいます。

柳川観光大使

大淵盛人九段の次の一手

【問題】終局間近です。まだ終わってないところが5つあります。見つけてください。

【豆知識】IPS細胞研究でノーベル賞を受賞した山中伸弥氏の趣味は囲碁。普段の研究は左脳を中心にするので、囲碁で右脳に刺激を与え、新たな発想を生み出すそうです。



編集後記

流行り病にかかってしまった。10月1日号の編集がひと段落した後だったのが不幸中の幸い。広報7年目になるが、まさか自宅で編集後記を書くことになるとは。ただ、7年も編集後記で次々とネタを放出している身からすると、今回のようなネタは少しありがたかったりする。 <和久>